

週刊「中国・アジア」ダイジェスト

2012.03.05~03.09

記事の詳細は、情報検索サービス「キジサク」でご覧になれます

\*記事は東京発行・最終版

CHINA

3月5日(月)  
ゴミ焼却設備、中国で2倍  
三菱重工 / 年120億円

三菱重工業は、中国でのゴミ焼却設備の売上高を2015年3月期に2倍強の100億120億円に。現地企業との協業体制を拡充し、技術や信頼性で新規開拓。中国は200基の増設計画。(7面)

「乗換案内」- 中国で拡充  
ジョルダン / 現地の人向けも

ジョルダンは中国関連事業の拡大を目的に、ナビピッドコムに資本参加。「乗換案内」を中国在住の日本人以外に、現地の人に向けた商品を展開も想定。ナビピッド上海子会社を活用。(9面)



現在提供中の乗換案内「ナビピッド」の上海版



住友重機、現地DCで一元化  
中国拠点の情報システム

住友重機械工業は、2012年以降に中国の生産・販売拠点が利用している情報システムを一元化する。現地のDCを活用し、ネットワークを整備、メールシステムや会計システムを構築する。(9面)

香港バス2社から受注  
NEC / 自動放送・運行記録

NECは、現地法人のNEC香港を通じて、香港シティバスと新世界第一バスサービスの2社から、車内の自動放送システムと運行データの記録システムを受注した。受注額は数億円。(9面)

ASIA

3月5日(月)  
三菱ふそう、新興国用3割安く  
9トンの12トン/インドに投入

三菱ふそうトラック・バスは、開発・生産をサポートした新興国向けトラックを公表した。車両総重量9トンの小・中型で、2014年までに主にインドに投入する。2割3割安く設定。(6面)

台湾で大型立旋盤を量産  
オーエム製作所 / 年100台

オーエム製作所は4月から台湾で大型立旋盤を量産する。低価格や汎用性が高い2シリーズ。委託生産から自社生産に切り替えて新興国市場の需要増に対応する。2014年度に年100台体制。(7面)

日立建機、インドネシア新工場  
鉱山機械 / 常陸那珂にも

日立建機は、国内外で鉱山開発に用いる大型建設機械の年産能力を上げる。常陸那珂臨港工場隣接地に新工場。インドネシアのチビトン工場を増築するとともに、第2工場を新設する。(7面)

住友商事、インドネシアで売電  
地熱発電 / 30年

住友商事は、インドネシアの地熱発電プロジェクトで、国営電力会社PLNと長期売電契約を結んだ。期間は30年。2鉱区合計の発電容量が440万kWのプロジェクトで、2016年に完工。(15面)

東急、街作りパッケージ輸出  
総事業費1000億円 / ホーチミン市郊外

東京急行電鉄は、街作りパッケージを輸出する。ベトナムのホーチミン市郊外で都市開発に着手する。約7500戸の住宅、商業施設、業務施設を建設する。総事業費1000億円。(15面)

台湾LED43社、提携先探し  
技術提携先や販売代理店

台湾のLED関連43社が来日し、日本市場の開拓に乗り出す。展示会「LED

ネクストステージ」に出展し、技術提携先や販売代理店を探す。台湾は周辺の設備開発が得意だ。(20面)

3月6日(火)  
東京ガス、ベトナム大手と提携  
LNGインフラ整備

東京ガスは、ベトナム最大のペトロベトナムガスとLNGに関する包括協力協定を結んだ。LNG受入基地やパイプラインなどインフラ整備に協力。火力発電所の建設、運営まで視野。(3面)



握手する東京ガスの岡本毅社長(左から3人目)とペトロベトナムガスのニン社長(右から3人目)

マスプロ電工、ベトナムに工場  
テレビ受信機器 / 東南アに年60万台

マスプロ電工は、ベトナムにテレビ受信機器の工場を設立し10月に稼働する。東南アジアでのデジタル放送普及に対応する。生産能力は年60万台。同社の受信機器は国内向けが大半だった。(8面)

インドネシアで光通信  
NTTコム / 自社ネット

NTTコミュニケーションズのインドネシア子会社が、自社の光網を活用したネットワークサービスを開始。現地で固定データ通信免許を取得。国内と現地のデータ送受信を提供する。(9面)

ダスキン、韓国に直営1号店  
三井物産と共同 / F&C募集

ダスキンと三井物産は、韓国でモップやマットなど清掃用具をレンタルするダストコントロール事業を始める。5日にソウルに直営1号店を開店。韓国全域からフランチャイズ店を募る。(13面)

アジア国債で追加型投信  
BNPパリバ

BNPパリバインベストメント・パー

中国、成長率7.5%に下げ  
「質」を重視 / 全人代が開幕

中国の第11期全国人民代表大会が開幕した。焦点だった2012年のGDP成長率は7.5%と、昨年までの8%から引き下げた。温家宝首相は民生改善など「質」を重視する考えを強調した。(2面)

日本人技術者を海外拠点に派遣  
メイテック / まず中国の日系向け

メイテックは、日本人技術者を日系企業の海外拠点に派遣する新事業に乗り出す。「グローバル派遣」の第1弾は中国国内に拠点を構える日系メーカー向け。技術者需要は底堅いと判断。(3面)

トナースは、追加型投資信託を設定、運用を開始。日本を除くアジア諸国の国債、政府機関債、社債が投資対象。安定した収益の確保を目指す。(15面)

3月7日(水)  
ブリヂストン、タイに新工場  
建設・鉱山車両用タイヤ / 日量85トン

ブリヂストンは、タイのアマタ・シティ工業団地に建設・鉱山車両用タイヤの新工場を建設する。同国内のスチールロード工場でも、建設・鉱山用を生産する。生産能力は日量約85トン。(5面)

トミタ、新興国に相次ぎ現法  
夏にベトナム / インド・メキシコにも

トミタは、夏をめどに工作機械や周辺機器、工具などの販売を手がけているベトナム・ハノイの駐在員事務所を現地法人にする。インドとメキシコにも現法を年内をめどに新設する検討。(6面)

旭化成ケミ、韓国に新プラント  
医薬品向け溶媒 / 年1万1000トン

旭化成ケミカルズは、医薬品の製造工程で薬の成分を抽出する溶媒に用いるアセトニトリルの新プラントを、韓国に新設する。韓国子会社に年産能力1万1000トンの新プラントを建設する。(10面)

ベトナムに鉄鋼建材の合併  
住友商事 / 現地大手と加工販売

住友商事は、ベトナムに鉄鋼建材の加工販売を行う合併会社を設立した。現地の鋼材流通大手のSMCと組み、インフラ整備が進み、需要が見込める鉄鋼建材の拡販を狙う。(13面)

ドラマのロケ地、韓国から誘客  
中国運輸局 / 旅行代理店視察

中国運輸局は、韓国の旅行代理店関係者を招き、視察ツアーを実施。韓国のテレビドラマのロケ地の鳥取市(『アテナ』)や広島県尾道市(『サイン』)などを紹介、韓国からの観光客を誘致。(27面)

3月8日(木)  
外資51%以上の中小支援を要望  
日商會頭、タイ首相を表敬

日本商工会議所の岡村正会頭は、来日中のタイのインラック首相を表敬訪問。

三菱自、中国に新合併  
年産25万台 / 次期ミラージュなど  
三菱自動車は、中国の広州汽車集団との新たな合併会社を6月に発足する。2012年後半の生産開始を目指す。新合併の年産能力は25万台で、パジェロに加えて次期ミラージュなど複数車種。(5面)

電子商取引大手アリババと協力  
大垣共立銀行 / 販路開拓に支援

大垣共立銀行は、B2B電子商取引大手の中国アリババの日本法人と業務協力協定を結んだ。海外に販路を開拓したい同行の取引先をアリババに紹介し、販売活動を支援してもらう。(25面)

3月7日(水)  
ジャトコ、中国90万台体制  
無段変速機 / メキシコは年産120万台

ジャトコは、中国とメキシコで無段変速機の生産能力を増強する。年産能力は中国90万台、メキシコ120万台に増やす。親会社の日産自動車も海外で生産能力を増強するのに対応。(5面)

駅務機器、中国で展開  
オムロンソーシアルソリューションズ

オムロンソーシアルソリューションズは、上海に現地調達やマーケティングの機能を追加した。中国で自動改札機や自動券売機の低コスト生産体制を確立し、駅務機器事業を始める。(7面)

中国で設計の治具、品質向上  
富士ゼロックス / 3次元データ共有

富士ゼロックスは、中国で設計した治具の品質向上策に乗り出す。設計段階における不具合の事前チェックリストを整備するほか、日本と中国で3次元の治具設計データを共有する。(8面)

タイのインラック首相(左)と日商の岡村正会頭



タイの治水対策の実施と再保険制度の充実、中小企業の金融支援で外資比率51%以上の企業への適用を要望。(2面)

ミツバ、生産設備を内製  
アジアの拠点 / 2割3割

ミツバは、アジアの各生産拠点で使う設備で、開発・製作の現地化を進める。現状は金型を含む生産設備の全量を日本で製作、各国に供給。その2割3割を各拠点で内製する。(5面)

日本精機、車用計器の第2工場  
インド南部 / 4輪・2輪向け

日本精機は、インド南部タミルナドゥー州に4輪車・2輪車用計器の製造販売を手がける新会社を設立した。2017年には4輪車用計器を年間60万台以上、2輪車用計器を同150万台以上。(5面)

サンエイ、タイから輸出  
インドネシアへの金型部品

サンエイは、タイ工場からインドネシアへの金型部品の輸出を4月から始める。タイ工場の生産量を金額ベースで30%増の年間2億3000万円分に引き上げ、輸出台数を増産する。(6面)

シンフォニア、タイに移管  
半導体製造用の搬送装置 / 低価格品

シンフォニアテクノロジーは、半導体製造装置用の搬送装置の生産を再編する。低価格モデルを豊橋製作所からタイ工場に移管。一方、豊橋は高付加価値品にシフトする。(8面)

東芝、電気機関車の部品受注  
韓国鉄道公社から / モーター・電源

東芝は、韓国鉄道公社の貨物用電気機

3月8日(木)  
SMK、青島に販売拠点  
スイッチ・コネクタ  
SMKは、山東省青島市に販売拠点「SMK青島オフィス」を開設した。現地のデジタル家電・携帯電話のメーカー向けに、スイッチやコネクタの販売を強化する。(8面)

カネカ、上海に統括会社  
米はテキサス / 4月設置

カネカは、中国と米国に統括会社を4月に設置する。上海市とテキサス州に設置。地域の経営戦略の検討や研究開発のほか、工場を現地やその周辺地域で新設する際の支援を行う。(10面)

日本曹達、農業原体企業に出資  
力菱ファインに / 海外に安定供給

日本曹達は、中国で農業中間体や原体、ファインケミカル中間体を生産する力菱ファインケミカルに19.5%出資した。出資額は5億円。出資により海外市場へ製品を安定供給。(10面)

3月9日(金)  
ココカラファイン、上海1号店  
20店目指す / ドラッグストアで初

ココカラファインは、上海市に全額出資の現地法人を設立した。営業許可を取得、早ければ3月中にも第1号店を開き、将来的に20店舗の開店を目指す。ドラッグストアで初。(3面)

テクノアソシエ、中国第2工場  
制動関係部品など月800トン

テクノアソシエは、中国で自動車部品

製造の第2工場を新設する。候補地に上海の既存工場の近隣。トランスミッション関連や制動関係部品の合計生産量は月800トンに拡大する。(10面)

上海・マレーシアに出荷基地  
ヘリウム年800万m<sup>3</sup> / 岩谷産業

岩谷産業は、上海市郊外とマレーシアにヘリウムの出荷基地を建設する。2013年のカタルーでのヘリウム生産プロ生産開始と同時に年800立方メートルを引き受ける。中国と東南アジアに輸出。(14面)

帝人、下水処理装置を受注  
瀋陽市 / 公共処理場から初

帝人は、瀋陽市で建設される下水処理場向けに同社独自の水処理装置を5台受注した。移動可能なため分散処理方式を採用できる点が評価された。公共処理場からの受注は初めて。(14面)

西友が安い中国米  
さらに3割安く / 関東149店

西友は、「中国吉林米5%」を1299円で販売する。同社の低価格帯の商品よりも、さらに約3割安い。関東・静岡エリアの149店で販売する。低価格帯商品は品薄状態が続く。(15面)

ひと  
中国仕様で差別化

「中国で思ったほど開拓できていない物もありニッチ市場にどう入っていくか議論している」と思案するのは日本バイリン取締役の木村政廣さん。「フィルタ関係や貼付薬用基布がターゲット。現地の状況、仕様に合わせた加工で素材機能を差別化する」。(6日=10面)

力を2倍に高め、自動車の増産に対応。エンジン向けなど。(10面)

P P製造技術を生与  
タイの石油化学大手に / 日本ポリプロ

日本ポリプロは、同社が開発したポリプロピレン(PP)製造技術「ホライゾンプロセス」とインラインコンパウンド製造技術をタイの石油化学大手IRPCにライセンス供与する。(10面)

ベトナムで洗剤向け界面活性剤  
豊田通商 / 年2万4000トン

豊田通商は、台湾の化学品メーカー・フォルモサンユニオンケミカルとのベトナム合併会社で2013年2月に衣料用粉末洗剤向け界面活性剤の生産を始める。フル稼働の2017年に2万4000トン。(15面)

ベトナムで金型・日本語の講座  
角丸金属 / 技術者を養成

角丸金属は、ベトナムのホーチミン高等訓練校に日本語教育と金型を中心とした機械加工の技術指導の講座を4月から順次開設する。現地に進出している日系企業に派遣する。(31面)

ひと  
食卓の定番に

「韓国や中国でヒジキやワカメの販売増が見込める」と、太田油脂社長の太田健介さん。韓国でヒジキ、中国でワカメを生産、全量が日本向けだった。最近では「韓国ノリにヒジキを挟んで食べる。中国人もワカメを食べ始めた」とか。食卓の定番にする意気込み。(7日=13面)

じっくり攻める

「探しに来るのを待つのではなく積極的に情報発信する」と意気込むのは韓国・鉅洋(ゴヤン)金属社長の金学淳さん。近く名古屋市に販売の新会社を設立し、日本に進出する。手がける部品は「品質が重視される」だけに。じっくり時間をかけて攻め込む。(8日=5面)

企業 モノ・チャネル

固有の技術と製品で存在感を示す日本のものづくり企業。各社各種の知恵と工夫に富んだ企業の中から、貴社にとって選りすぐりの企業が見つかります。

特集 モノ・チャネル

ものづくりを取り巻くさまざまな切り口でお役立ちコンテンツを掲載。話題のイベントや業界界などにスポットを当てた企画、ビジネスの動きが読み取れます。

読み物 モノ・チャネル

インタビュー、レポート、コラム...ものづくりに関する最新の視点と、課題を鋭く切り取る。掲載記事は1回読み切り記事のなかには、発見と学びの宝の宝庫が隠れています。

教育イベント モノ・チャネル

ものづくりに関する全国各地のイベント・セミナー情報を掲載。掲載イベントを含む情報入手を通じて、貴社の情報感度とネットワークを高めます。

専門・技術 モノ・チャネル

ものづくりを支える多様な技術と専門技術を幅広く紹介。業界や製品に特化したピンポイント解説で、貴社のインテリジェンスが深まります。

地域 モノ・チャネル

全国各地のものづくり企業を地域単位で紹介。地場産業など、その地域ならではの個性が企業が見つけられます。